

スキルアップセミナー

- 趣旨：青少年教育活動や学級活動における仲間づくりについて、国立淡路青少年交流の家で行っている課題解決型プログラム【アドベンチャーラリー】の講義・体験・演習を通して、目的を達成するための理念を理解し指導場面で活かせる実践力を高める機会とする。
- 主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家
- 場所：国立淡路青少年交流の家（兵庫県南あわじ市阿万塩屋町 757-39）
- 日程：令和6年9月7日(土)
- 対象：大学生以上
- 参加人数：4名（内訳：大学生1名、社会人3名）
- プログラム内容

【開会式】10:00～10:10

はじめに、「スキルアップセミナー」での趣旨について確認した後、参加者同士で自己紹介をし、セミナーで学びたいことの確認をした。



【ミニ講義（アドベンチャーラリーってどんなプログラム？）】10:10～10:20

開会式のあとはミニ講義を行い、その後の体験の理解が深まるように、チームビルディングの基礎知識や、交流の家で行っているアドベンチャーラリーについて学んだ。

【アドベンチャーラリーを体験しよう】10:30～12:00

講義のあとは、お祭り広場でアドベンチャーラリーの体験を行った。交流の家の職員が指導者となり、参加者は小学生役としてアドベンチャーラリーの種目を体験した。初対面の参加者もいたが、種目を行うごとに仲が深まり、プログラムの効果を肌で感じる事ができた。



【ミニ講義（模擬指導にむけて）】 12：45～13：15

次の模擬指導に向けてミニ講義を行い、メニュー作りで意識することや、声掛けのポイントを学んだ。その後は2グループに分かれて、午前中体験した種目のうち1つを決めて指導案を作成した。参加者は積極的に職員に質問や相談をしており、実際の指導場面をイメージしながら話し合いをしている姿を見ることができた。



【模擬指導】 13：20～15：00

サッカーのクラブチームにご協力をいただき、実際に指導者として中学生に対して模擬指導を行った。参加者は初めての指導とは思えないほど堂々と指導をしており、終始笑顔に溢れる時間になった。模擬指導後には「実践前のアドバイスのおかげでイメージがしやすかった」という声があり、午前からの講義や体験の内容が活かされていると感じた。



【閉会式】 15：20～15：30

模擬指導の振り返りをした後、研修室で閉会式を行った。参加者からは「緊張したが子どもに指導する貴重な機会になった」「他の手法や種目も学んでみたい」といった前向きな感想を聞くことができ、参加者にとって満足度の高い1日であったことが伺えた。

8 成果と課題

子ども側と指導者側の両方を体験したことで、様々な角度からチームビルディングについて学ぶことができ、本事業の趣旨である「指導場面で活かせる実践力の向上」に繋がったと考える。また、職員としても参加者からの質問に答えたり、実践の様子を見ることで新たな発見が多くあり、非常に有意義な時間となった。今後の課題としては、アンケート結果から、小中学生以外の体験者に対してのアプローチの方法を伝えられることで、より内容に深みを出せると感じた。来年度は参加者が普段接している年齢層にも配慮しつつ、より幅広く学ぶことができるように活動を実施していきたい。